STOP！レジオネラ！ お風呂の衛生管理は適切に！

平成２０年６月１１日
富山県感染症情報センター
(直 0766-56-5431)

感染症発生動向速報

（平成２０年第２３週分・６月２日～６月８日）

《 インフォメーション 》

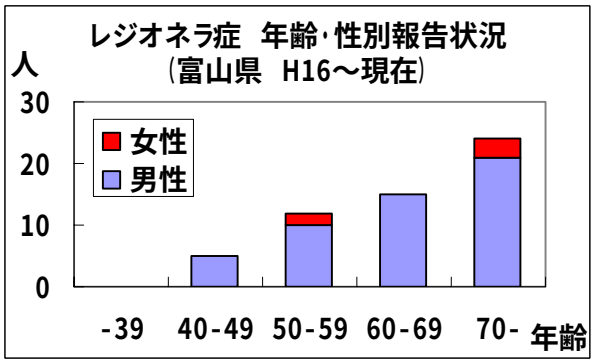
●レジオネラ症

今週､新川厚生センターからレジオネラ症の報告が1件ありました。県内では、今年に入ってからこれまでに５件報告されています。

レジオネラ症の報告は近年増加傾向にあり、全国では年間約 600 人程度、県内でも 10～20 人程度報告されています（右表参照)。患者のほとんどは男性で、50 歳以上が全体の約９割を占めており、高齢になるほど報告数が増加する傾向にあります（下図参照)。

レジオネラ症報告状況

診断年	全国	富山県
H16	161人	2人
H17	281人	12人
H18	508人	22人
H19	667人	15人
H20	229人	5人



レジオネラ症は、レジオネラ属菌の吸入や誤嚥により起こる感染症です。症状は、高熱、咳、頭痛などの症状に始まり、呼吸困難へと進行し、稀に死亡する場合があります｡糖尿病や慢性呼吸器疾患､大酒家、重喫煙者など、発症に関連する危険因子がいくつか知られていますが、特に基礎疾患のない人でも発症します。

レジオネラ属菌は土壌や温泉水など自然界に生息しています｡近年のレジオネラ症の増加は、冷却塔や循環式浴槽等の人工的水環境におけるレジオネラ属菌の生息域の拡大が原因と言われています。

レジオネラ対策は、主に循環式浴槽の衛生管理を徹底することです。**温泉や公衆浴場、スポーツ施設等で入浴設備がある施設の管理者は、施設の衛生管理に気をつけましょう**。また、**家庭で 24 時間風呂を使用する際は、設備の管理を必ず取扱説明書に従って行いましょう**。

《 全数報告の感染症 》

２類感染症　結核　３件（診断週：第 13 週分１件、第 22 週分１件含む）
４類感染症　レジオネラ症（ポンティアック型）　１件
５類感染症　麻しん　１件（感染地域：富山県）

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位６疾患

順位	疾病名	定点あたりの数 今週	先週	増減
１位	感染性胃腸炎	8.76	9.38	↓
２位	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.00	2.83	↑
３位	マイコプラズマ肺炎	1.20	0.60	↑
４位	手足口病	0.93	0.66	↑
５位	突発性発しん	0.62	0.28	↑
６位	水痘	0.59	1.03	↓

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/

平成20年6月11日
富山県感染症情報センター
（直0766-56-5431）

インフルエンザ定点における迅速診断キット診断状況
(2007/08年シーズン)

このデータは、インフルエンザ定点医療機関（内科、小児科）から、インフルエンザ迅速診断キットで診断された患者数を任意で報告頂いたものと、厚生センター・保健所が定点医療機関に照会して診断状況等についてコメントを頂いたものを合わせて集計しています。
現在、どのタイプのウイルスが流行しているかの目安としてください。

第23週　(平成20年6月2日 ～ 6月8日)　　(単位:件)

厚生センター・保健所(HC)名	報告機関数	陽性数				
		A型	B型	A型+B型	型別不明	合計
新川	0	0	0	0	0	0
中部	0	0	0	0	0	0
高岡	0	0	0	0	0	0
砺波	1	0	0	1	0	1
富山市	0	0	0	0	0	0
富山県	1	0	0	1	0	1
シーズン累積割合		96%	3%	0%	0%